

平成27年度第3回桑名市入札監視委員会議事録

日 時 平成28年2月18日(木) 10:00 ～ 11:00

場 所 桑名市役所3階第2会議室

出席者 桑名市入札監視委員会委員(4名)

東川 薫

伊藤由美子

佐藤 久善

藤田 素弘

事務局(6名)

丹羽 孝至(契約監理課 課長)

加藤 一吉(〃 課長補佐兼検査指導係長)

伊藤奈雄(〃 課長補佐兼契約係長)

藤堂 真志(〃 契約係)

稲垣 吉文(上下水道部 企画総務課 課長)

大平 善英(上下水道部 企画総務課 課長補佐兼総務係長)

工事担当課(6名)

加藤 和広(桑名駅周辺整備事務所 所長)

出口 敏幸(土木課 課長)

伊藤 康洋(土木課 建設係長)

森山 忠宏(土木課 建設係 主査)

松田 幸寿(上下水道部 次長兼工務課長)

栗原 繁憲(〃 工務課 主幹)

事 項

1 開 会

【事務局】

おはようございます。

本日は、ご多忙中の中、ご出席賜りまことにありがとうございます。

定刻になりましたので、平成27年度第3回入札監視委員会を開催させていただきます。

本日、赤木委員から所用で欠席する旨のご連絡をいただいておりますことをご報告させていただきます。また、総務部長につきましても所用のため欠席させていただきます。ご了承いただきますようよろしくお願いいたします。

座って失礼いたします。

本日の議題につきましてはお手元の事項書のとおりでございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

なお、本委員会は、入札監視委員会条例第5条第2項の規定を満たし有効に成立していますことをご報告申し上げます。

それでは、開会に先立ちまして東川委員長からご挨拶を頂戴いたしたいと存じますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

年度末も近づいてまいりました。皆さんお忙しいと思いますけれども、まことにありがとうございます。

先日、ほかの委員会に委員として出させていただいているんですけど、この市でも今後、多分あれは人口減少にタイアップしたものではないかと思いますが、市の施設等の精査をして数なんかも見直していくようなことでもお聞きしておりますので、そういうことも考えると、数もですが、それぞれの工事価格、どれぐらい市民の負担がかかるのかというのが非常に重要性が今後増す一方であるというふうに考えておりますので、今日も引き続き見守っていきたいと思います。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

ありがとうございました。

ここからは、桑名市入札監視委員会条例第5条第1項の規定に基づきまして、東川委員長に議事進行をしていただきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

【委員長】

それでは、事項書に従って議事を進めてまいりますのでよろしくお願いいたします。

本日の会議は一般公開となっておりますけれども、現在傍聴を希望される方はお見えになっておりません。また、途中で傍聴される方がお見えになる可能性もありますので、その時点で傍聴の可否についてはお諮りさせていただきたいと思います。

それでは、早速審議に入りたいと思います。

2 議 事

(1) 入札及び契約手続きの運用状況について

【委員長】

議事の(1)入札及び契約手続きの運用状況につきまして、事務局のほうから説明をお願いいたします。

【事務局】

改めまして、おはようございます。事務局の伊藤でございます。

座って失礼いたします。

それでは、入札及び契約手続きの運用状況についてご報告をさせていただきます。

まず、指名停止の状況でございます。

資料は、1ページをお願いいたします。

今回の審議対象期間であります平成27年9月から12月の4カ月間に指名停止措置を講じました件数は、資料のとおり6件でございます。このうち本市が独自に指名停止を講じました2件につきましてご説明をさせていただきます。

まず1件目ですが、表の一番左をごらんください。

桑名市指定ごみ袋可燃物用(大)の納品について、本市が示した仕様と異なる部分があり、修正を指示したところ、納期日までに納品を行うことができなかった案件でございます。

こちらのほうは、桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2第7号の不正または不誠実な行為に該当いたしますので、契約締結者であります北村化学産業株式会社名古屋支店に対しまして1カ月の指名停止措置を講じたものでございます。

続きまして、2件目の案件ですが、表の左から2番目のほうをごらんください。

こちらのほうは山田電気工事株式会社になりますけれども、過去2回の経営事項審査におきまして虚

偽の届け出により得た結果通知書をもちまして公共工事の発注者に対しまして入札参加申請を行ったとして、三重県より45日間の営業停止処分を受けました。こちらのほうは桑名市請負工事入札参加者指名停止基準別表第2第5号の建設業法違反に該当いたしますので、当該事業者に対しまして10カ月の指名停止措置を講じたものでございます。

他の4件につきましては、三重県が実施いたしました指名停止に合わせまして本市でも同等の措置を講じたものでございます。

次に、談合情報の状況でございますが、対象期間内において寄せられたものはございませんでした。以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご報告につきまして、ご質問、ご意見等はございませんでしょうか。

【委員】

(特になし)

(2) 抽出事案の審議について

【委員長】

それでは、続きまして、議事の(2)で抽出事案の審議についていきたいと思えます。

審議に先立ちまして、抽出案件5件について説明を得るため入札監視委員会条例第6条の規定に基づき関係者の出席を求めたいと思いますが、いかがでしょうか。

【委員】

(異議なし)

【委員長】

それでは、関係者の出席を求めます。

(工事担当課 入室)

【委員長】

それでは、審議に当たりまして、今回の5件の抽出理由につきまして佐藤委員のほうから説明をお願いします。

【委員】

まず、最初の8―8号ほか道路整備他工事ですが、発注金額が4,000万を超える高額であること、応札業者の中で失格者、9者中6者が失格し、1,000円の差で落札者2名も同額で、2者でくじ引きのために決定をしたということでしております。どういうことでこういう結果になったのかちょっとお聞きしたいなと思いました。

次、第2回目、市道蛸塚益生線道路改良工事でございますが、これも3,000万を超えるんですが、11者中8者が失格、落札者2者も同額でくじ引きで決定をしたということで、落札金額も非常に似通っておりますので、同じような傾向でございましたので抽出させていただきました。

第3番目は、福島城下幹線北別所第一枝線污水管路施設工事、これは、入札者が2者でございまして、金額も高うございますし応札業者も非常に少ないということで、ほかにも污水管路施設工事、ほかの工

事では4者とか5者とか入札者があるんですけども、ここは2者だけであったので、どういう理由があったのかなという、ちょっと抽出させていただきました。

4番と5番はいずれもコンサルの業務でございますけれども、非常に応札業者が多い、40者を超える、1個は50者ぐらいありますかね。中でも失格の業者が非常に多い、かつ同額の入札価格がずらっと並ぶというふうな形になっておりまして、4番目、5番目はいずれも同じような理由ですけれども、その辺のところをお聞かせいただきたいと思いますと思いまして抽出をさせていただきました。

以上でございます。

抽出事案 1 8－8号ほか道路整備他工事

【委員長】

それでは、第1案件について、8－8号ほか道路整備他工事について、発注担当課のほうから工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いします。よろしくお願いします。

【担当課】

失礼します。

8－8ほか道路整備他工事につきましてご説明いたします。

桑名駅周辺事務所所長の加藤でございます。よろしくお願いいたします。

施工目的といたしましては、桑名駅西土地地区画整理事業計画に基づき、施工位置図のとおり、桑名駅北側の門前通りというところの公共整備とそれに伴います換地の整地を行ったものでございます。

工事概要といたしましては、舗装工1,640平米、側溝工300掛ける300なんですけれども、412メートル、横断暗渠工300・300で7メートル、街渠工300・300で12メートル、雨水ボックスカルバート1,400掛ける1,000を32メートル施工いたしまして、それに属します換地の整地を行っております。

以上、概要について説明を終わらせていただきます。よろしくお願いします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明申し上げます。

資料のほうは13ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。入札参加資格要件は、市内に本社または本店を登録している土木工事業の許可業者で、3,000万円以上の下請契約を予定する場合は、一般の許可業者は不可と規定しています。経審点数が650点以上の者で、完成工事高が予定価格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成17年度以降、官公庁が発注した案件で、土木一式工事の実績を有することといたしまして、技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置することとし、3,000万円以上の下請契約を予定する場合、主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとして公告をいたしました。

続きまして、入札の経過及び結果でございます。

資料は14ページをお願いいたします。

平成27年9月2日に入札を行いましたところ、9者から応札があり、開札の結果、6者が最低制限価格の算出基準価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち最も低い価格で応札したものが2者ありましたので、電子くじにて霞興業有限会社を落札候補者といたしまして、事後審査を行った結果、適格でございましたので、当該事業者を落札者といたしまして、税抜き3,792万円で契約を締結いたしました。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご質問、ご意見等がございましたら、よろしくお願いします。

【委員】

抽出させていただきましたので、ちょっとお伺いさせていただきます。

1つは、入札9者のうち6者が3,791万9,000円で、落札された方は3,792万円ということで1,000円差、非常に、9者中8者がごく近い数字のものを出して、これまでも同じようなことがあってご質問させていただきましたときに、土木の場合にはそうした算出のソフトといいですか、そういったものが、非常に緻密なものがあるのかしてこういう形になったのかなと思いますけれども、それと、もう一つは、こういうソフトがあって算出できるのに予定価格が1,000万近く違う、この辺のところはどうなんですかねということなんですけど、予定価格を算出するときにはそういう、入札のときに使うソフトみたいなものは使われないんですか。

【事務局】

お答えさせていただきます。

最初の1,000円の差という部分につきましてですけれども、業者に少し話を聞いたところ、1,000円差という部分につきましては、ソフトの中でどうしても端数の関係で業者の判断という部分が入ってくる部分があるといったこともお聞きしておりますので、その部分の判断で1,000円の差が出てくるということをお聞きしております。

設計のほうの予定価格との差という部分につきましては、積算ソフトでまず予定価格と同額になるようにしておいて、算出の式のほう、直接工事費だとか現場管理費だとか、工事の打ち合わせの中の部分にそれぞれの算出率を掛けまして出されておりますので、それで最低制限価格の算出基準価格のところを計算されてこの金額で入札されているんだと考えられます。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委員】

2者が最終的に残ってくじ引きになったんですけれども、これは価格だけであとは争うということなんです。何か経審点とかそういうのは一切考慮しないというようなことでよかったんですか。

【事務局】

お答えさせていただきます。

経審点数につきましては、入札の参加の資格があるかどうかの部分の判断に使わせていただいておりますので、発注公告のほうの経審点数の基準をクリアしている業者さんであれば入札のほうに参加していただけるという形で、650点以上の業者さんであれば金額だけで比べさせていただいて、この部分での入札結果の判断ということはさせていただいていないというのが現状でございます。

【委員長】

それでは、この案件につきましては問題なしという形にしたいと思います。

抽出事案 2 市道蛸塚益生線道路改良工事

【委員長】

では、次です。第2案件、市道蛸塚益生線道路改良工事につきまして、発注担当課のほうから工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をよろしくお願いいたします。

【担当課】

都市整備部土木課でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

資料の15ページの工事概要のご説明をさせていただきます。

工事名は、市道蛸塚益生線道路改良工事でございます。設計額は4,153万320円、工期は平成

27年9月18日から平成28年2月29日まででございます。工事場所は、桑名市大字東方地内で、資料22ページの地図の箇所でございます。

事業の内容でございますが、市道蛸塚益生線は、桑名市の北部と桑名駅西地区を結ぶ幹線道路として都市計画決定され、平成16年度からは、県道桑名東員線と桑名駅西土地区画整理事業区域界までの736メートルの区間につきまして事業認可を受け整備が進められ、本年度をもって供用開始という運びとなりました。本工事につきましては、資料22ページの位置図にございますように、養老鉄道線の北側と南側の2ブロックにおいて道路施設の整備を行うものでございます。

内容につきましては、土工一式、地盤改良工一式、重力式擁壁工一式、カルバート工6メートル、排水構造物工が一式、構造物撤去工一式、縁石工一式、舗装工一式、区画線工一式、擁壁工52メートルでございます。

資料16ページは、養老鉄道線の南側の平面図、17ページは北側の平面図でございます。

資料18ページは、養老鉄道線の南側の縦断面図、19ページは北側の縦断面図でございます。

資料20ページと21ページは、標準断面図でございます。20ページの図面にお示しをしておりますように、本線が養老鉄道線を橋梁でまたぐため、その前後は高架部分と側道部分で構成された断面図となっております。21ページは一般地上区間の断面構成をお示ししております。

今回の工事では、養老鉄道線の南側では本線高架部分の舗装工、区画線工、養老鉄道線の北側では本線高架部分の擁壁工と舗装工、区画線工並びに本線地上部分と側道部分の地盤改良工、排水構造物工、縁石工、舗装工、各線工を施工しております。

工事概要の説明については以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【事務局】

続きまして、発注公告及び入札経過についてご説明申し上げます。

資料のほうは23ページをお願いいたします。

入札方法は事後審査型条件付一般競争入札でございます。審査参加資格要件は、市内に本社または本店を登録している土木工事業の許可業者で、3,000万円以上の下請契約を予定する場合、一般の許可業者は不可と規定しています。経審点数が650点以上の者で、完成工事高が予定価格の2分の1以上あり、同種工事施工実績といたしまして、平成17年度以降、官公庁が発注した案件で土木一式工事の実績を有することとし、技術者要件につきましては、現場代理人及び専任配置の主任技術者を配置することとし、その他といたしまして、3,000万円以上の下請契約を予定する場合、主任技術者にかえて監理技術者を専任配置することとして公告をいたしました。

次に、入札の経過及び結果でございます。

資料は24ページをお願いいたします。

平成27年9月9日に入札を行いましたところ、11者から応札があり、開札の結果、8者が最低制限価格算出基準価格を下回ったため失格といたしました。有効な札のうち、最も低い価格で応札したものが2者ございましたので、電子くじにて株式会社加藤組を落札候補者といたしまして、事後審査を行った結果、適格でございましたので、当該事業者を落札者といたしまして、税抜き3,161万9,000円で契約を締結いたしましたものでございます。

以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたら、よろしくお願いいたします。

【委員】

これも1件目と同じ理由でございますが、今回の審査対象となりました土木工事の全般について言えるんですけども、同じような同額で失格になるという例が幾つもありまして、今回も11者出て8者が失格、そのうち4者は同じ価格が2組だった、1,000円差で落札をするという、くじ引きで落札

という形で、同じような形で落札者が決まっておるという形です。土木工事の場合、今までもこういうことが多いのかもわかりませんが、理由としてはやはり同じことでしょうか。

【事務局】

ご質問にお答えさせていただきます。

1,000円差の部分につきましては、ソフトの部分のそういう精度といいますか、業者さんの判断の部分というところがあると思います。

9,000円違う部分につきましては、積算基準のほうの解釈にも誤りといいますか、そういった部分があるのではないかというふうに推察はしているところでございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかにありますか。

【委員】

今こうやって積算ソフト、皆さんお使いになることで、例えば先ほどの案件もそうですけど、いわゆる業者さんにとって欲しい工事であれば、最低制限価格ぎりぎりを計算上狙って、このあたりというふうに皆さんが、極端なことをいうと同じソフトを使っていれば同じ答えが出て、端数のところでどう判断するかでもってこのようにいわゆる開札の結果というのを生み出しているのかなというふうに見ているわけなんですけど、その中で市民の負担という点でいけば、いわゆる少しでも負担の少ないものが金額で競争することによって選択されるということで、それもいいのかもかもしれないし、それから、あとこういう状態であれば、いわゆる昔問題になっていたような談合といったことも非常にこの結果から見れば考えにくいことで、競争という意味ではある意味適正化が図られてきているのかなというふうには思うのですが、ただ、やはり事業者にとって欲しい工事であればこうやって最低のところに並んでしまうということは、果たして予定価格が妥当であったかどうかとか、そのあたりもちょっとどんなものかなと。業者にとって欲しいというのは利益が多分たくさんとれるということも1つの判断になっていると思いますので、こういうのがいっぱい並ぶようだとちょっとその辺、何か見直していただいたほうがいいのではないかなというふうにちょっと思いました。感想です。

【委員長】

特にご質問ということではありませんが、何か事務局からありましたらどうぞ。

【事務局】

ご意見を承りまして、やはりくじ引きが多いという部分につきましては全国的にも問題視されている部分が出てきておりますので、そのあたり、まだ桑名市につきましては変動型の最低制限価格を導入していることもありまして、全国的なほどくじ引きの割合が多いわけではございませんけれども、また今後くじ引きの割合が上がっていくようなことがあれば、制度として改正をしていく必要があるかと考えておるところでございます。

以上でございます。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

【委員】

前の案件とよく似た案件で、よく似た、同じ企業が応札しているのがかなりあるんですけど、今回は前回のものとは違う業者が入っているんですが、これというのは同じ業者がたまたまとるみたいなこともあり得ると思うんですけども、そういうあまり同じ業者が独占するのもまずい気もするので、そのあたりはどういうような制限がかかっていると考えたらいいのか。

【事務局】

お答えをさせていただきます。

確かに同じ業者ばかりが落札されるということは問題があるかと思うんですが、業者さんの規模だとか技術者さんの雇用状況によりまして、技術者を当然配置していただくのに専任という形で1人とする

形になりますので、技術者さんが足りなくなればその業者さんはもう入札参加はできないという形で制限という形にはなりますし、あとはほかの自治体におきまして、1日の入札の制限、落札件数の制限というようなものを設けているようなところもございますけれども、そういったところについては、桑名市としては業者さんの規模というか、従業員さんの数というところもございます、そういった制限を設けていないというのが現状でございます。

【委員】

主任技術者とかの要件があるので、そのあたりの人が手配できないと多分だめだと思うんですけど、これ、ほとんど同時に入札していますよね。そういう場合って何か調整されるんですか。何かほかの案件でとると主任技術者が今度は違う案件では足らなくなるというような場合だと、どういうことになるのでしょうか。

【事務局】

お答えさせていただきます。

同日に入札がある場合がわかりやすいかと思うんですが、その場合ですと、主任技術者が例えばお一人しかみえなくて、2件入札に入ってどちらか1本はとりたいという場合がありますけれども、そういったときは落札可能件数の届け出というものを提出していただいておりまして、そちらのほうで1本とれば次の入札についてはとれませんのでという届け出を先にしておいていただいて、1本とってしまえば次の入札についてはこちらとして無効として取り扱いをさせていただくような取り扱いにさせていただきます。

以上でございます。

【委員長】

ほかは、では、この案件につきましては特に問題なしということです。

ただ、すぐにどうこうということではなくて、私、門外漢ですけど、逆にこれだけこういう積算のソフトが主流になってくる場合は、値段のところではもう差がつかないので、市民として贅沢な話ですけど、同じ値段であればやっぱり質のよいものを求めていると思うので、そこら辺を何か反映できるような仕組み、非常に難しいと思いますけど、研究していただけるようよろしくお願いします。

それでは、この案件につきましては以上としたいと思います。

抽出事案 3 福島城下幹線北別所第一枝線污水管路施設工事

【委員長】

次に第3案件です。

福島城下幹線北別所第一枝線污水管路施設工事につきまして、発注担当課のほうから工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

【担当課】

上下水道部工務課でございます。よろしくお願いいたします。

25ページをごらんください。

工事名、福島城下幹線北別所第一枝線污水管路施設工事、設計額5,134万3,200円、工期、平成27年12月17日から平成28年3月15日まで、工事場所、桑名市大字北別所地内でございます。

工事概要につきましては、污水管布設工事を開削工法で行い、北別所地区の污水整備を行うものでございます。また、既設の水道管が下水工事の支障となるため、水道管の布設工事をあわせて下水道、上水道の一括発注をしております。

まず初めに下水道でございますが、污水管布設工、管径150ミリ、管種、硬質塩化ビニール管、延長132.4メートル、組立マンホール設置工5カ所、小型マンホール設置工、塩化ビニール製12カ所、公共汚水樹設置工22カ所、舗装工1,073平方メートルでございます。

次に、水道でございますが、下水道工事の支障となる配水管の布設替えを行うもので、口径50ミリ

から100ミリメートル、管種、配水用ポリエチレン管、延長361.6メートル、消火栓設置工1カ所でございます。

工事場所でございますが、32ページをごらんください。

図面のやや右下に桑陽保育所というのがあるんですけど、こちらの北西付近でございます。地図には載っておりませんが、西医療センターの南付近となります。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

引き続きまして、本件入札の経過について報告をいたします。上下水道部の大平と申します。

本件、平成27年11月4日に事後審査型条件付一般競争入札にて公告を行いました。発注基準として、建設業許可は土木工事業を特定、市内業者で経審点数730点以上です。完成工事高として発注業種の完成工事高が予定価格の2分の1以上で、同種工事施工実績、平成17年度以降、官公庁が発注の土木一式工事の実績としております。技術者要件として、現場代理人と監理技術者の専任を付しております。

そのように公告いたしまして、平成27年11月24日に入札を行いましたところ、2者応札があり、開札の結果、最低制限価格以上で予定価格の範囲内で最も低い応札をした三光建設株式会社を落札予定とし、その後、参加者資格審査を行い、適格と判断して三光建設株式会社と税抜き4,700万円で契約を締結しました。

以上となります。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問ありましたら。

【担当課】

委員長、先ほどご説明の中で、污水管の布設延長を読み間違えていましたもので、訂正させていただきます。污水管布設延長は312.4メートルでございます。よろしくお願いいたします。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ご質問はありませんか。

【委員】

同種の配水管とか污水管との工事で、多いのは10者ぐらいあるんですが、ほかのところは大体3者とか5者とか、非常に応札業者が少ないというのが1つと、それから、他の案件で、污水管とか配水管の布設の工事、落札率は大体81%から89%ぐらいの数字なんですけど、これだけが2者だったということもあるんでしょうけれども、98.86%と落札率が非常に高い。この辺の理由といいますか、どうしてこうなったのかなというのをちょっと疑問に思いますので、抽出させていただきました。

【担当課】

今回の案件につきまして、発注時期が工事の最盛期ということもありましてほかの工事を抱えている業者さんも多く、現場代理人等の確保が難しかったのではないかと推測されます。

また、落札率が高いというところにつきましては、この地区につきましては非常に道も狭く施工条件が非常に厳しいところから、応札された方は落札率が高くなったのだと思われます。

以上でございます。

【委員】

工事がかぶってあって少なかったということですが、同時期に発注しておる工事、そういう配水管布設工事で12者あったり11者あったりする工事もあるんですけど、今言われたようなやっぱり工事する場所の条件が悪かったということでしょうかね、2者しかなかったのは。

【担当課】

予測なんですけれども、やっぱり施工条件が厳しいというところで、効率性という点もありまして入

私はなかったのではないかと考えております。

【委員長】

ほかにはいかがでしょうか。

では、この案件につきましては特に問題なしといたします。

これもいつも言われていることですが、なるべく業者のほうも質の高い工事が受けられるようなタイミングで、地域のバランスよく発注していただければと思います。

抽出事案 4 巖新田幹線森忠枝線污水管路施設設計業務委託

【委員長】

それでは、次に第4案件です。巖新田幹線森忠枝線污水管路施設設計業務委託につきまして、発注担当課から概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についての説明をお願いいたします。

【担当課】

引き続き上下水道部工務課でございます。よろしくお願いいたします。

35ページをござんください。

委託業務名、巖新田幹線森忠枝線污水管路施設設計業務委託、設計額1,893万8,880円、委託期間、平成27年10月26日から平成28年3月15日まで、委託場所、桑名市大字森忠地内でございます。

業務内容につきましては、開削工法による污水管、管径150から200ミリ、延長約575メートル詳細設計と、小口径推進工法による污水管渠、管径200から250ミリ、延長約15メートルの詳細設計の業務委託でございます。本業務委託は、森忠地区の污水管整備に先立ち詳細設計を行うものでございます。

委託箇所につきましては、36ページをござんください。

三岐鉄道北勢線沿いの星川駅と七和駅の間にあります。星川駅より西へ約1キロの位置でございます。

今回の委託設計では、三岐鉄道北勢線の岐路オーダーの設計も含まれており、詳細設計の内容といたしましては、地質調査、工法比較検討、鉄道協議等を行い、管路の設計を行うものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

引き続き本案件の入札の経過についてご報告をいたします。

本件、平成27年9月30日に事後審査型条件付一般競争入札で公告を行いました。入札参加資格要件としては、建設コンサルタント業です。所在地が県内、技術者要件としては、管理技術者、照査技術者に右のような条件を付しております。同種業務履行実績として、平成17年度以降、官公庁の発注の案件で下水道管渠設計の実績をつけております。

そのような条件で入札を行いましたところ、45者の応札があり、そのうち22者が最低制限価格を下回り失格、11者が同額となり、くじ引きにより株式会社オオバ三重営業所を落札候補者とし、その後の入札資格審査により適格であったため、本事業者と税抜き1,324万6,000円で契約を締結しました。

以上となります。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見がございましたらよろしくお願いいたします。

【委員】

この案件につきましては、非常に応札業者が多くて四十数者ありました、45者ですか。そのうち22者が失格、失格した中でも、1,324万5,000円というので13者が失格、1,324万6,000

0円、先ほどの1,000円違いが11者なわけでごさいます、その中で抽選して落札決定したということですが、これもコンサル、いわゆる設計業務関係もやはりそうした算出のためのソフトウェアと
いうのがあるということですか。

【担当課】

同じくそういうソフトがあると思われまして、基本的には三重県の積算基準に基づいて設計を行っております。ただし今回の場合、一部路線変更の関係で以前設計した部分の見直し部分がありましたもので、そちらにつきましては補正をさせていただいております。こちらのほうの端数処理等の関係でこう
いう結果になったと思われまして。

以上でございます。

【委員長】

ほかに。

それでは、この案件につきましては特に問題なしということにいたしたいと思ひます。

抽出事案 5 国道1号拡幅に伴う污水管路施設設計業務委託（長島地区）

【委員長】

それでは、最後の案件、第5案件です。

国道1号拡幅に伴う污水管路施設設計業務委託（長島地区）につきまして、発注担当課のほうから工事概要の説明をしていただき、その後、事務局から発注公告の内容と入札経過についてのご説明をお願いいたします。

【担当課】

続いて上下水道部工務課でございます。よろしくお願いいたします。

42ページをごらんください。

委託業務名、国道1号拡幅に伴う污水管路施設設計業務委託（長島地区）、設計額579万6,360円、委託期間、平成27年11月30日から平成28年3月15日まで、委託場所、桑名市長島町松ケ島地内でございます。

業務内容につきましては、開削工法による污水管渠、管径150ミリ、延長約190メートルの詳細設計の業務委託でございます。

43ページをごらんください。

委託場所は、長島町総合支所の南東付近の国道1号になります。

本業務委託は、国土交通省が施工予定である国道1号桑名東部拡幅事業に伴い、国の事業にあわせて国道1号沿いの污水管整備を行う必要があるため、整備に先立ち詳細設計を行うものでございます。

詳細設計の内容といたしましては、国土交通省との協議、現地調査、測量を行い、管路の設計を行うものでございます。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

【事務局】

本件の入札の経過について説明をいたします。

本件、平成27年11月4日に事後審査型条件付一般競争入札で公告を行っております。発注参加資格要件として、建設コンサルタントの県内の業者、技術者要件として、管理技術者と照査技術者、右のような条件を付しております。同種業務の履行実績として、平成17年度以降、官公庁の発注の案件で下水道管渠設計業務の実績を求めています。

そのように発注を行ひまして、平成27年11月17日に入札を行ったところ、46者の応札があり、1者が制限価格を下回り失格、43者が同額の入札のためくじ引きになり、株式会社テイコク三重営業所を落札候補者としました。その後の参加資格審査で適格と判断し、本業者と税抜き405万2,000円で契約を締結しました。

以上でございます。

【委員長】

ありがとうございました。

それでは、ただいまのご説明につきましてご質問、ご意見がございましたら。

【委員】

これも4番目の抽出案件と同じ理由で抽出させていただきましたが、これは特にまた46者が応札して43者が同額であったと。こういうのは設計の場合は普通なんではないかというのが1つと、設計委託の中で四十数者、50者近く応札される案件と、5者ぐらいいかないところもあり非常にばらつきがあるんですけども、この辺の理由がもしありましたら教えていただきたいと思います。

【担当課】

応札者の数につきましては、500万円以上につきましては、発注基準に基づきまして県内ということで、入札に参加できる業者さんが129者あるというふうに聞いておりまして、129者という数が多いものですから参加者も多いのではないかと思います。

また、積算につきましては、先ほど申しましたように、三重県の積算基準に基づきまして設計をしておりまして、それに準じて入札された業者さんにつきましては正確に出せるので、今回、前回の案件とは違ひまして補正ありませんもので同額ということになったと思います。

以上でございます。

【委員】

今の500万円以上、百二十数者ということですけど、500万円以下の場合だと対象となる業者は市内業者ということになるんですか。

【事務局】

すみません、お答えさせていただきます。

建設コンサルタントの発注基準につきましては3段階ございまして、500万円以上、250万円以上500万円未満、250万円未満と3段階に分けさせていただいておりますけれども、こちらのほうで500万円以上については県内まで、500万円未満については準市内までという形で、ここからまた250万円未満になりますと、同種業務の履行実績を求めないという形で調整をさせていただいております。

以上でございます。

【委員】

事業によって応札業者の数が極端に違うものですから、どうしてかなというのがちょっと疑問に思いましたので抽出させていただきました。

以上です。

【委員長】

ほかはいかがですか。

どうぞ。

【委員】

今、いわゆる発注というか入札の方の基準、コンサルの場合は250万と500万とで線を入れて3段階にされているというふうに伺ったんですけども、何かこの結果を見ていると、500万という仕切りが果たしていいのかなと。何かすごい数の方が、競争という意味ではたくさん競争があったほうがいいのかもしれないんですけども、何か結果を見ると、積算ソフトでぽんと出してきて同じのがずっと並んでいてというとなんかちょっと違和感を感じるんですけども、適正なのかなということも言いませんけれども、これは例えば市内だと何者ぐらいいあるんですか。すごく少ないとかということですか。

【事務局】

市内ですとゼロでございます。建設コンサルタントにつきましては、準市内は十何者であるかと思われます。ですので、金額が高くなれば県内までという形で広げさせていただいて、委託内容について難

しいといえますか、技術的なものが必要のある場合ですと県外、全国に求めるというような条件をつけさせていただく場合もございます。

【委員】

ありがとうございました。そういうことであれば、この状況というのは今後も仕方がないのかなというふうに思います。

これは意見なんですけれども、先ほどこちよと委員長がおっしゃったことでもあるんですが、金額基準だけで求めると、いわゆる積算ソフトの答えを業者さんの判断でもって争っているという、競争しているということではないので、やはり何かそれプラスいわゆる提案事項、そこも何か加味できるのかなと。全くこの質のこの条件のこのものだけというものが決まっているものであればあとは金額の競争でしかないと思うんですけれども、そこに何か提案の要素が入るようなことであれば、何かそういったものも考慮に入れることができるとよりいいのかなというふうに思います。

【委員長】

ほかはいかがですか。

では、この案件につきましては特に問題はないと思いますけれども、今ご意見があったように、値段のほうが少しいくという状況であればやっぱり質の高いものが実現できるような工夫を考えて。

これは余談になりますけれども、三重県の情報公開の審査会の委員をしているんですけれども、その案件として、工事の内容や質についてはどの業者さんもやはりすごく追求していて、入札をしたところの業者の提案の内容をほかの業者さんが公開していて、やっぱり何か工夫をすればそういういい競争というか、同じ値段の中ではより質のいい工事をやっていくという、そういうモチベーションがあるわけですので、そういう工夫もなかなか難しいと思いますけれども、考えていって欲しいです。

これが最後の案件ですので、以上をもちまして抽出事案の審議は終了いたします。では、ここで発注担当課さんは退席をしていただきます。どうもありがとうございました。

(工事担当課 退室)

それでは、次回の審議案件の抽出は、順番によりまして藤田委員となりますのでよろしくお願いいたします。

(3) その他

【委員長】

次に議案の3、その他について、あと何かありますでしょうか。

【事務局】

事務局のほうからは特にございません。

3 閉 会

【委員長】

それでは、これにて平成27年度第3回の桑名市入札監視委員会のほうを終了させていただきます。なお、本日の審議概要につきましては、後日、事務局でまとめていただきたいと思います。今日はお忙しいところ、どうもありがとうございました。